

お金の家の事と就中事ある様にお支

心なすりたかたに氏を信託する事有る

事と思ふ事か公に依託し不当時の出来

の事二軒の家賃の事と申物との割の

中取料を払ふ事又Taxを修繕に費用か

入の事其令の事と申物との事と申物

敷の事又の銀行の事と申物との事と

事と申物との事と申物との事と申物

申物との事と申物との事と申物との

事と申物との事と申物との事と申物

の事と申物との事と申物との事と申物

の事と申物との事と申物との事と申物

の事と申物との事と申物との事と申物

の事と申物との事と申物との事と申物

是れを...のものと私も思ふ事なり
何れにせよ金銭の事から言へば
四半と云つておとどかぬ西の事か
本よりたるとは我事か何事か
の事。長期にやるものと思ふ事
今更に甲者徴かつし...甲者係せら
れざる本年十月に於てかう云ふ事
四月から本年十一月迄合計二十ヶ月
の收支勘定の手帳を引くと
費之一層の金を増え又1944の一月から始
りし迄の間に約二之からは一年
より少くとも勘定之金をとる程に
少くとも思ふ事なりと云ふ事なり
おとどかぬ事なりと云ふ事なり

4
お梅様

次はつらしーやーや新に降のしや考考おん

一才当改の事をい達知申のしや考考の生

活状時心込満すの何変も大同の世に

す事ト申此の思つる事流儀の事はち

春と秋が始々といふ久自更か直をえん

直も自更をえん事流儀のす一雨天少し

この二三の位暑さ方一を思ふ日もあつた

の流儀に掛り申暑さ事流儀あつた

四月頃より自更にかつこの中少し

書いさうあつたがソレより夜おん

中一は世風状時心で自更のす方

心地かよるす方論へん

いさうあつた風は

昨日も雪降りのかあ

書地ノ中其書上ノハタイムノ文ノ中其ノ中ナリ
不考し中其心合ノ事カチキモシカラノ事
アモノ事ナキ下キモキモチキ海ノ事
報告

事(ナキ)

判ノ事其ノ事ノ事(中)中其其其其其其其
中合其其其其其其其其其其其其其其其其
中其其其其其其其其其其其其其其其其其

中其其其其其其其其其其其其其其其其其
中其其其其其其其其其其其其其其其其其

中其其其其其其其其其其其其其其其其其
中其其其其其其其其其其其其其其其其其

一月七

志田漢藏

井上達夫 様